



## 「新型コロナの本当のお話と実際」

北九州市立八幡病院院長 岡本好司氏

導入は大阪生まれで、曾祖父は臨濟宗大本山妙心寺管長、実母の従姉妹は作家山崎豊子さん等の華麗な家系を披露。しかし、名門桐蔭高校野球部に所属し、産業医大でも野球部で活躍していたと話されて、親近感も感じた。それに、現職の新装なった市立八幡病院の特筆すべき点や、コロナ患者が他の病気のための手術をする難しさや、指定病院でないがこれまで500人以上、毎日20人以上のコロナ患者を診なければならぬ病院の現実等を語られました。八幡病院ではこれまでクラスターは発生していないとのこと、頭が下がります。そして、医療ロボットの共同研究等の他、2007年には「医の達人」にも選ばれるというすぐ腕の外科専門医でもあります。



さて、2019年12月中国湖北省で発生したコロナウイルスは、日本では2020年1月、武漢から帰国した人から検出され1号感染者となった。現在738万人(5月に入り800万人超え)の感染者がいる。そのうち死者は約3万人で、世界的に見て少ない数である。また、重症者も少ないがそれは患者に若い人が多いからで、自宅待機も多く、中重傷者は4波・5波と数字的には変わっていない。

また全員に免疫が行き渡るにはワクチンしかなく、ワクチンはエイズと同じ作り方でできるという。重症化率の高い65歳以上の人口比率が政令市中No.1の北九州市に住む私たち、我がクラブも外国製のワクチンを打ちながら、1日も早い国産ワクチンの完成を心待ちにしている。

それに、検査方法はPCR検査・LAMP検査があり、抗原検査や抗体検査で陽性者は30分程度でわかるという。しかも陰性であればよいのかと思ったら、偽陰性もあるというお話には少々不安になった。

彼らの生存期間は、空気中では3時間、段ボールの上では24時間、プラスチックやステンレスの上では2~3日生きているという。野球場でクラスターが発生しないのはそのお陰であろうが、ウイルスのしぶとさに、外出時の行動にはより注意が必要だとも思った。

その一方で、「コロナ」命名の基となったレセプターの話で、ウイルスは罹る相手を失うと死滅するという意味が理解できた。治療薬の名前もおしえて頂いたが、何より予防が大切であることも……。

[マスク][手指の消毒][不要な外出は控える]をこころして、三密回避の日々を送りましょう。そして、日本のコロナによる死者数が少ないのは、医療体制の充実と真面目な国民性にあるそうで、私たちも感謝しながら予防に努めて参りましょう。(植田、内藤、藤原)

## 4月例会報告

最初に、お試し入会を先月体験した住百合絵さんが4月から正式入会され、自己紹介を兼ねて挨拶、会員の動向では休会中だった眞鍋会員の体調が回復、5月例会から出席するとの報告があった。

卓話は岡本好司市立八幡病院院長が「命を守る～新型コロナの本当のお話と実際」のテーマで講演、また、ウクライナ難民を助けるため、先月、今月の2回募金を呼びかけていたが、暫定目標の6万円の目途が付いたため、例会後に6万円をウクライナ大使館あてに送金した。

引き続き、意見交換会の報告、三役会、役員会で討議された内容を説明した。委員会の数は4から3に減らし、「例会委員会」「交流委員会」「広報委員会」の3つにする、今後、各委員会で内容を討議してもらい、5月の三役会、役員会で各委員会の意見を参考に最終案をまとめ、改革案を提案、7月総会に諮るというスケジュールが示された。各会員に所属したい委員会の第1希望、第2希望を出してもらい、三役会で調整、引き続き同じ委員会に属したい人には新たに所属する委員会との兼務を認める。新入会員はこれまで本人の希望を聴いていたが、1年間は4か月ごとに各委員会に所属してもらい、1年後から本人希望を優先するなどの説明があった。活性化に関連して新たに「歌を唄う会」の同好会新設、休眠中の「カラオケ同好会」「歴史文学講座」の再開策を、会員の話し合いで進めてもらうことなどが、提案された。(安高)

## 「生きる」ということ

住吉 育代会員



No59

先日、中学時代からの友人が「悪性脳リンパ腫」で手術したとの衝撃的ニュースが入ってきた。友人とはコロナ禍に見舞われる前、食事の約束をしていて、コロナが騒がれ出したので取りやめた。コロナが終息したらやろうねと言っていたが、いつまでも終息しないのでそのままになっていたのだ。

慌てて彼女に電話した。幸い手術は成功し、もう大丈夫というので会いに行った。久しぶりに見る友人は思わず息をのむほど老けて見えた。無理もない…。

考えてみれば、もういい年だ。気分的には若いつもりでいても一般的には立派な高齢者だ。いつ、何が起きてもおかしくない年齢。同級生の何人かが亡くなったり、闘病中であったりとの情報も入る。平均寿命が男女とも 80 歳を超え、人生 100 歳時代といわれる現代ではあるが、皆が皆元気なわけではない。友人、知人の訃報を聞くと、一気に不安になる。まだ世を去る準備が出来ていない。人間は必ず死ぬ。頭ではわかっているのに…。

自分の人生はどうだったのか、どう生きたかったのか。真剣に考えてみよう。時間はあまりないのだが。

### 広報委員会

5月6日 6名出席  
ホテルテトラ北九州  
で17時30分から開催  
しました。

2名の方が体調不良  
のため欠席され少し寂  
しくもありましたが、  
議論は白熱し活発な討  
議が行われました。

「つながり6月号」  
の紙面構成や原稿出筆  
者の確認等を行い、ス  
タート間近の会報  
「Rink23号」の編集方  
針や発行までの工程等  
も話し合いました。  
また、前月に続き意見  
交換会の検討事項も資  
料に基づき検討、終了  
後は和やかな食事会と  
なりました。(内藤)

### 親睦委員会

4月12日 14名出席  
いつもの湖月堂が都合で使え  
なかったため、今回は小倉リー  
セントホテルで12時から場所  
を変えて開催しました。花かご  
弁当のメニューが目新しく、皆  
さん喜んで下さったようです。  
議題は日帰りバス旅行の件で  
すが、当初予定では5月19日  
でしたが、5月12日に変更とな  
りました。コースは筑後川温泉  
方面で、浮羽歴史民俗資料館や  
大石堰、三連水車の見学やお買  
い物所にも立ち寄ります。

温泉でゆっくり、のんびりで  
過ごしてはいかがでしょう  
か。どうぞ御家族、友人等お誘  
い下さり沢山のご参加をお願  
いいたします。

※参加者が少なく、残念な  
がら中止となりました。  
(柴村)

### 活性化委員会

4月26日 8名出席

新緑若葉の候、リー  
セントホテルで新規委  
員会の立ち上げに対し  
て、名称、内容等につ  
いて様々な意見が飛び  
交いました。より良い  
楽しいクラブにしたい  
との願いが活発な発言  
に込められています。  
新しく同好会も誕生  
し、コロナ禍で休眠状  
態の同好会も動き出  
します。ホームページの  
作成、管理運営のメン  
バーの確認もありまし  
た。また、新人会員の  
対応は全員で取り込む  
必要ありとの再認識で  
した。(近藤哲)

### 全日本プロバス協議会事務局報告

#### 持ち回り理事会で次期会長案件等原案通り承認

令和4年4月10日、持ち回り理事会を開催した。議題は11月に開催される第10回総会に向けて①次期会長クラブを東京八王子プロバスクラブに、第11回総会開催のホストクラブを奈良プロバスクラブに依頼する②会計年度と会長任期のスタートを揃える会則2件の改正案でした。常任理事、理事合わせて17名に諮ったところ、4月18日の回答締め切りまでに、14名から回答があり、回答の全員から原案通りの承認を得ました。

事務局では議案づくりを加速させ、7月16日には北九州市内で、対面式の常任理事会を開く方向で準備を進めています。(松本)

## 「ことばについて」はなします



近藤弘子会員 No56

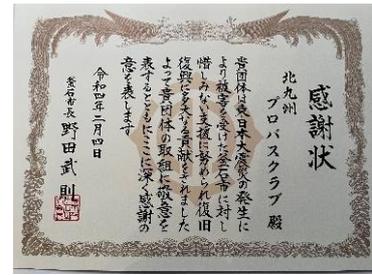


暮らしの手帖の本の中の“素敵なあなたに”のエッセイを読んで、思うことができました。それは、「ことばって大切ですね」の小さな文章でした。著者が友だちとどじょう屋に行った時のこと。料理のメニューの中に鯉のアライがあり、酢味噌の苦手な私は、隣の若い人がみるみるアライを食べていましたので、その方に「アライをあがっていただけますか？」とお聞きしました。「え!」「う!」という返事が返ってくるか思いましたら、「お言葉に甘えまして!」との返事で、美味しそうに食べて下さったのです。言葉の美しかったこと。

また違った例ですが、私が高校1年生の時、母と一緒にお茶の稽古に行った時、相手の方から「恐れ入ります」と挨拶をいただき新鮮な言葉でしたので、心に染みしました。そして事あるごとに使ってみましたら、大人になったような面はゆい言葉で、心に響きましたね。

ことばと言うのは、相手に気持ちを伝えるだけでなく、自分の心にも響くものだと、改めて気づかされました。このようにスピーチを締め括られました。

ことばの使い方選び方等、ことばの大切さを実感し、楽しいスピーチでした。(新城)



### 釜石市から感謝状

東日本大震災に際して、当クラブは市の姉妹都市である釜石市へ義援金を5年間に渡って送りました。それに対して感謝状が送られてきたものです。(内藤)



## ♡同好会活動報告♠

### ワインを楽しむ会

ゴールデンウィークの前、今年初の開催(4月24日)である。コロナの影響か自粛ムードで会員の出席が少なく開催が危ぶまれたが、7人の参加となりリップのマスターも腕に撚りをかけて振る舞って下さった。講師は職業柄、同席出来ない為、FaceTimeで交信。今月のワインはフランス・ボルドーワインの白1種類、赤2種類でその一つは「最も女性的なワイン」とも形容されるシャトー・マルゴ。メドック格付け第3級。しなやかな丸みのある口当たりであった。



アルコールが回ってくると久しぶりの楽しい時間であった。次回は6月26日。(古賀靖)

### 新会員(令和4年4月入会)の紹介 住百合絵さん



職業は飲食業、趣味はゴルフとオルガン、紹介者は近藤哲生さん入会前に“花見会”に参加させて頂きました。とても和やかで楽しかったです。現在、仏教会婦人部として活動しています。プロバスの同好会活動やボランティア活動に関心があり、何かあれば参加したいと思っています。よろしくお願いたします。



## コロナ発生から二年

吉田信雄会員

高齢の私は連日新型コロナウイルスのニュースを聞き、不安な毎日を過ごしている。不要不急の外出を極力避けて気分は晴れない。好きなゴルフも夏の間は家族に止められている。自動車の運転免許も2年前に返納して、近くのドライブも足止め中。

そのような状況にありながら、数ある趣味の一つに囲碁がある。戸畑に住んでいる囲碁仲間が、私に足が無いのを知って、週に1、2回自宅を訪ねてくれる。そのひと時は、二人で一喜一憂しながら楽しんでいる。そして、まだ先の見えない状況にあっても、毎朝のテレビ体操は継続している。

節分が過ぎてもまだ外は暗い。1日も早いコロナ終息とプロバスクラブ活動への参加を期待している昨今である。

### 4月お誕生日おめでとう (敬称略)

伊熊 克美(1日) 京谷 隆(4日) 欠席  
大川 力(4日) 岩崎英子(5日) 休会  
竹原 英作(17日) 欠席 植田佐世子(29日)



### ご存知でしたか 三大夜景都市

令和4年3月に札幌市で開催された「夜景サミット」において、北九州市が「日本新三大夜景都市」にランキング1位で再認定されました。2018



年の認定に続き、2度目。市内には、「皿倉山」や「高塔山公園」、「足立公園」、「門司港レトロ展望室」、「小倉イルミネーション」、「戸畑祇園大山笠」、「和布刈公園第二展望台」といた「日本夜景遺産」が7つもあり、バラエティ豊かです。(北九州市ホームページより)

### ありがとう BOXメッセージ 4月分 (順不同、敬称略)

- ★誕生祝をして頂きありがとうございます(伊熊) ★今日も例会に出席出来ました(遠藤)
- ★一步前進。82年~83年へ。意欲は忘れずに!!(大川) ★今日もありがとうございます(古賀え)
- ★組織改革が全員の皆様のより良い方向になることを祈ります(古賀靖) ★一日も早くウクライナに平和が訪れますように(柴村)
- ★初例会でした。皆様よろしくお祈りします(住)
- ★ロシアの暴挙が地球滅亡を招きませんように(住吉) ★ありがとうございます(谷口)
- ★健康第一(中山) ★卓話勉強になりました(橋本) ★いいお話のようですが耳が遠くなり少し残念(洞)
- ★感謝(松永) ★ウクライナに平和を(安高) ★毎日がコロナとウクライナで参ります(吉田信) ★今日も元気。明日も元気でいきますように(吉田秀) ★(松本)

収支報告	3月末残高	106,210円
	4月分収入	11,600円
	例会	98,300円
	バザー収益	3,300円
	ウクライナ募金振込手数料	-770円
	4月末残高	117,040円

